

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時：平成27年2月6日（金）10：30～11：25（55分）

2 場 所：鹿児島森林管理署 小会議室

3 出席者：

鹿児島森林管理署

中西 誠
佐藤 敏郎
杉野 隆二

署長
次長
総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会

白内 慎哉
小島 洋一
岩下 晃之
西山 太英
松元 一二三

執行委員長
副執行委員長
副執行委員長
書記長
執行委員

4 交渉事項

- (1) 主伐・再造林の拡大に係る業務過多の改善について
- (2) 労働安全確保対策について
- (3) 庁舎・宿舍の確保について

5 議事概要

(1) 主伐・再造林の拡大に係る業務過多の改善について

組合) 主伐・再造林の拡大に伴い、担当者の業務量の増加、収穫調査の煩雑化が懸念され、職員の労働条件に影響されることになるがどうか。

当局) 主伐・再造林の推進については、関係グループ総括を中心に応援態勢等に取り組んでいるところである。不足する部分については収穫調査委託調査等により取組み職員の業務軽減に努めて参りたい。

組合) 一部の業務において超勤が増えている。職員の超過勤務等の勤務実態を把握し改善を図ること。また、一般会計化後の複数の担当区を管轄している森林官について、業務量が増加している。業務の平準化をしないと業務過多の状況は改善されないと考えるが、どのようにしていくのか。

当局) 一部の業務において業務の都合により超勤が増加していることは把握している。非常勤職員等の活用により業務の平準化を図っていくようにしたい。
複数の担当区を受け持つ森林官において、業務量が増加していることは把握している。署等の応援により業務が偏ることのないように努めて参りたい。

(2) 労働安全確保対策について

組合) 請負事業体による災害が発生している。職員の労働災害も含め災害の未然防止対策について、どのようにしていくのか。

当局) 労働災害の未然防止については、職員災害、請負事業体を問わず最重要課題であると認識している。これまでもことある毎に安全指導、注意喚起等を行って来たところである。今後においても適切に徹底して参りたい。

(3) 庁舎・宿舍の確保について

組合) 牧園森林事務所については、老朽化並びに地滑り危険地域に指定されており、森林官の生活安全が確保出来ない。立替えの計画はあるのか。

当局) 牧園森林事務所については、老朽化並びに地滑り危険地域に指定されており、上局への立替え上申はしてある。今後においても再上申して参りたい。

組合) 職員数に対し宿舍の数が不足している。職員が不安に感じているがどのように考えているのか。

当局) 当署の宿舍数については、国家公務員宿舍削減計画により示されものである。不足する

ことが危惧されていることは承知しているところであるが、不足する場合は署の宿舎対策チーム等を活用し、不動産情報の提供等をして参りたい。